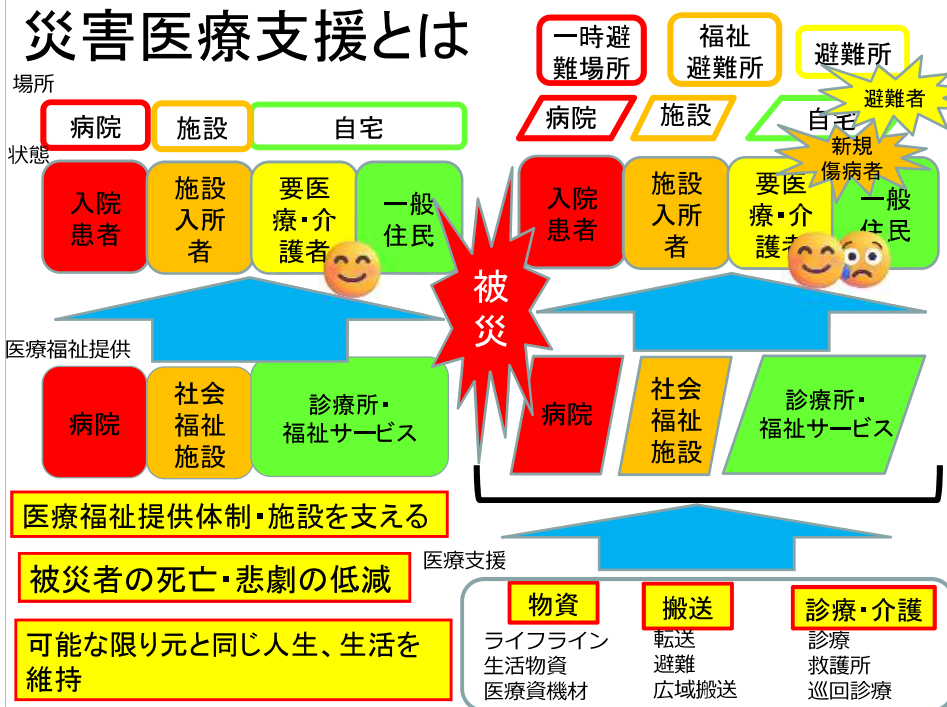


# 能登半島地震における 保健医療福祉支援活動

DMAT事務局  
次長 近藤久禎



## 災害医療支援とは



## Ⅱ被災地内最低限環境整備: 高齢者施設

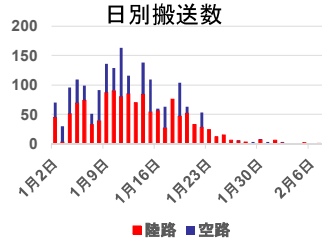
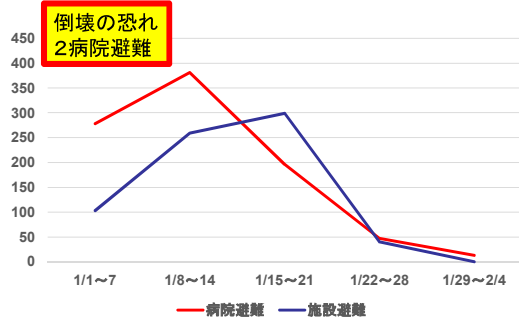
	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日
電話不通	26	5	0	1	0
建物被害	50	47	74	78	78
停電	20	18	20	18	18
断水	69	72	96	104	105
暖房使用不可	未	未	16	14	18
飲料水不足	未	未	20	20	26
食事不足	未	未	17	18	22

1月11日  
最低限環境確保  
手配終了

	1月4日		1月5日		1月6日		1月7日		1月8日		1月9日		1月10日		1月11日	
	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注
電気	20施設	未	18施設	未	18施設	未	18施設	未	18施設	未	18施設	未	0施設	不要	0施設	不要
暖房	2施設	未	2施設	未	3施設	未	14施設	14施設	14施設	14施設	24施設	24施設	24施設	24施設	24施設	24施設
灯油	2施設	未	2施設	1施設	7施設	1施設	14施設	14施設	14施設	2給油拠点	24施設	2給油拠点	24施設	3給油拠点	24施設	4給油拠点
飲料水	未	未	未	未	35施設	未	20施設	20施設	20施設	20施設	20施設	20施設	20施設	20施設	20施設	20施設
食料	未	未	未	未	32施設	未	18施設	18施設	18施設	18施設	18施設	18施設	18施設	18施設	18施設	18施設

寒冷環境8施設

# 病院・施設避難 現環境に耐ええない方の広域避難搬送



1月18日  
避難搬送完了

以降は、病院・施設機能維持のための搬送

	1/1~7	1/8~14	1/15~21	1/22~28	1/29~2/4	合計
病院避難	278	381	196	47	13	915
施設避難	103	259	299	40	0	701
合計	381	640	495	87	13	1616

避難福祉施設の確保は困難  
医療機関の速やかな協力確保も困難

## 目的

病院・社会福祉施設・避難所の

- I. 緊急医療アクセス確保
  - 要緊急医療者の初期診療、搬送
- II. 最低限環境確保と緊急避難搬送
  - 飲料水、食料、暖房環境確保と生活に耐ええない方の広域避難搬送
- III. 継続可能な保健医療福祉体制の確立
  - 能登、石川中部・南部の病院・施設・診療所機能維持支援
- IV. 地域の保健医療福祉体制の復旧・復興

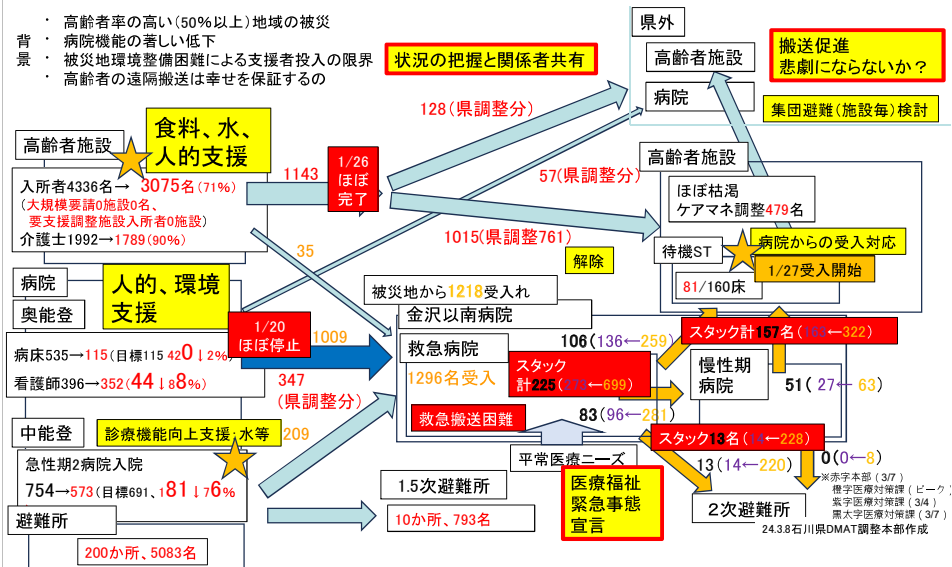
1月7日完了

1月18日完了

⇒防ぎえる災害による死亡、悲劇の低減、地域社会の存続・復旧

## 能登地震医療福祉機関の現状と対策

- ・ 高齢者率の高い(50%以上)地域の被災
- ・ 病院機能の著しい低下
- ・ 被災地環境整備困難による支援者投入の限界
- ・ 高齢者の遠隔搬送は幸せを保障するの



搬送促進  
悲劇にならないか？

状況の把握と関係者共有

食料、水、人的支援

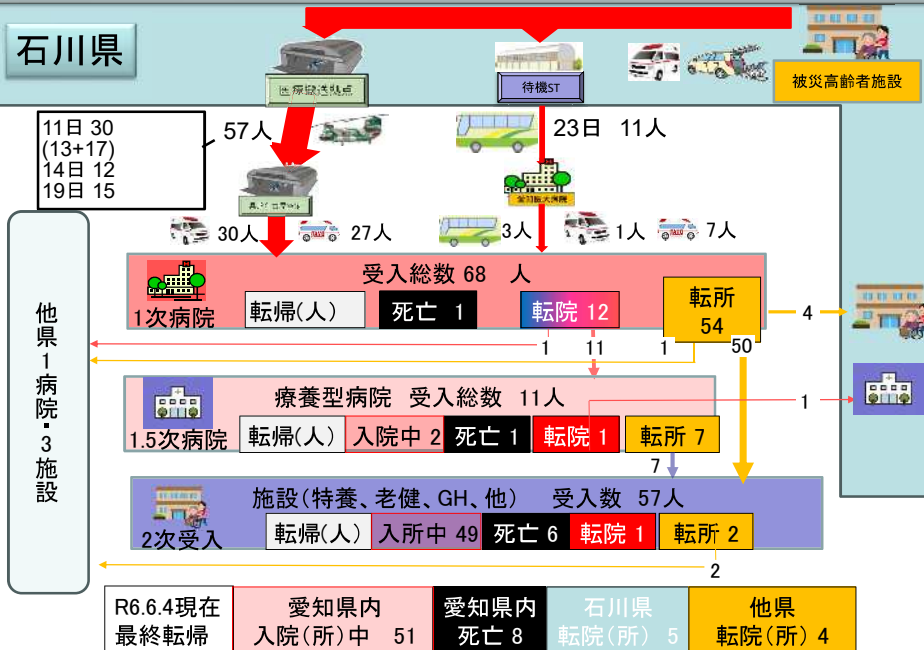
人的、環境支援

診療機能向上支援、水等

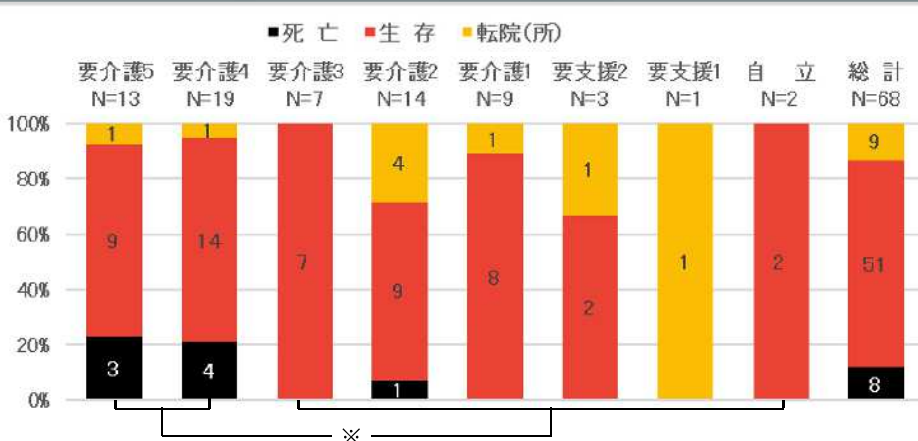
医療福祉緊急事態宣言

# 愛知県における能登地震避難受入患者の経過 (N=68)

## 石川県



## R6.6.4現在 介護度における死亡率 (N=68)



※ 要介護4以上:3以下死亡率比較  
 要介護4 $\geq$ 3=21.9% (7/32):2.8% (1/36) O.R (95%CI)  
 9.8(1.13~84.7)

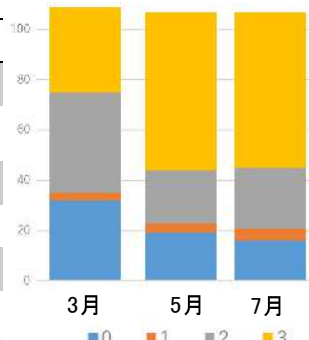
島ジロー論文

## 現在の入所サービス施設の復旧状況

各地域のSTEPの現状 7月(3月)

	珠洲市	輪島市	穴水町	能登町	七尾市	志賀町	中能登町	合計
0	2(7)	8(14)	3(3)	1(3)	1(3)	0(2)	1(0)	16(32)
1-デイサービス	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	3(1)
1-福祉避難所	1(0)	1(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)
2	4(1)	5(2)	4(6)	4(8)	4(14)	2(8)	1(1)	24(40)
3	0(0)	6(3)	4(3)	9(3)	24(14)	15(7)	4(4)	62(34)
合計施設数	9(8)	21(21)	11(12)	14(14)	29(32)	17(17)	6(6)	107(110)
	能登北部				能登中部			
戻し搬送完了人数	86	24	15	18	69	2	0	214

STEPの推移



0:全避難  
 1:救助法活用  
 2:ダウンスケール入所  
 3:フルスケール入所

※ STEP0の16施設中5施設が連絡が取れない又は廃業決定  
 ※ 残り11施設のうち再開に向けての懸念事項(6月調査時点:重複回答あり)  
 建物関連:3施設、設備・水関連:10施設、  
 職員関連:8施設、利用者関連:4施設  
 ※ 設備・水の懸念があるものの全避難しなかった輪島・珠洲の施設:4施設

## 施設入所者・職員数（輪島市）

各施設で見ると発災前より仕事量が上昇している施設も存在

	入所者			全職員数			看護師			介護職員		
	震災前	現在	現在/前比	震災前	現在	現在/前比	震災前	現在	仕事量変化	震災前	現在	仕事量変化
1	47	43	0.914894	33	29	0.878788	3	3	0.9148936	34	26	1.19639935
2	95	100	1.052632	47	44	0.93617	4	2	2.1052632	43	42	1.07769424
3	109	92	0.844037	72	60	0.833333	5	5	0.8440367	74	55	1.13561301
4	100	6	0.06	45	27	0.6	5	3	0.1	40	24	0.1
5	18	18	1	20	13	0.65	1	1	1	19	12	1.58333333
6	46	20	0.434783	15	11	0.733333	3	1	1.3043478	12	10	0.52173913
7	15	10	0.666667	0	2	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	5	2	1.66666667
8	96	12	0.125	42	32	0.761905	13	6	0.2708333	29	26	0.13942308
9	50	0	0	37	20	0.540541	5	3	0	33	17	0
10	102	0	0	56	52	0.928571	5	5	0	51	47	0
11	29	0	0	17	9	0.529412	2	1	0	15	8	0
12	29	0	0	20	6	0.3	1	0	#DIV/0!	16	6	0
13	16	0	0	13	0	0	1	0	#DIV/0!	15	0	#DIV/0!
合計	752	301	0.400266	417	305	0.731415	48	30	0.6404255	386	275	0.56182785
稼働施設のみの合計	526	301	0.572243	274	218	0.79562	34	21	0.9264892	256	197	0.74362587

- ・ 地域としての絶対的な不足はない
  - － 地域全体での数的評価
  - － 支援マッチングの現状：スポット支援中心
- ・ 復職、転職にあたっての人材の有効活用が課題
- ・ 職員士気の高揚・維持、丁寧な人的支援調整体制が必要

## 在宅サービスに関する現状と課題（輪島市）

### 見守り（予防）

在宅：輪島市社協 仮設住宅：JOCA  
※地域包括支援センター（困難事例）

関連団体（地域包括支援センター、JOCA等）の更なる連携が重要

### 認定

- ・ 輪島市全体では2.6倍
- ・ 要介護1・2増加顕著（地域の介護力低下等、社会的要因を示唆）
- ・ 輪島市内の認定数については全体の28%、前年の75%程度
- ・ 認定者数の増加は約195人（新規認定数521人の約37%）

再開施設数 7/10 (70%)、再開人数 19/30 (63%)

### 相談

- ・ 市全体としては最低限のサービス資源は確保されている印象
- ・ 輪島地区の復旧率が低く業務過多の可能性

ケアマネからの実業務負荷について聞き取り継続

### サービス提供

再開率55%（20/36施設）※2月時点

- ・ 門前地区の施設数はある程度保たれているがサービス数の不足が伺える
- ・ 新規再開にあたり利用者殺到で対応困難の報告はない

サービス資源の不足によりケアが受けられない地域やケースがないかフォローアップが必要

## 結語

- ・ 最低限環境が整わない中、避難は必要
  - － 医療・福祉の垣根のない対応が必要
- ・ 避難は悲劇を招く
- ・ 全避難は復旧に悪影響
  - － 過剰避難になっていないか検証が必要
- ・ 一般市民の広域避難についても検証が必要
- ・ 現状、医療・福祉提供における絶対的な人員不足はない

# 今必要なこと

## 人口減少社会における災害 低減すべき悲劇とは、誰のための復旧・復興か

### 【目的】

- ・ 被災高齢者に可能な限り元と同じ人生、生活を維持することにより災害による悲劇を低減させる

### 【目標】

- ・ 能登地域における福祉提供体制の早期復旧をはたす
- ・ 能登地域への帰還を促進する

### 【対策】

- ・ 「福祉の復興が最重要、福祉の担い手が能登復興の中心である」とのメッセージの明示：首長レベル、マスコミ広報
- ・ 帰還方針の明示：石川県外⇒県内⇒能登⇒町村
- ・ 施設、帰還者の実情に応じた丁寧な人材確保対策、帰還支援対策